

HACCPに関する経営者のコミットメント

農場HACCP導入の目的と衛生管理方針

(目的)

1. 我々は日本SPF豚協会の定める生産方式を基本として、安全な種豚と精液を安定的に供給することで、日本の養豚向上に寄与します。
2. 我々は日本の食卓に薬剤使用を少なくし、発育の良い安全で安心出来る良質な豚肉を提供します。
3. 我々は疾病を最低限に保つことで効率的な飼育を行い、無駄なエネルギーを減らします。
4. これらのために、従来にも増して生産現場に原材料と行程を管理する農場HACCPを導入するものです。

(衛生管理方針)

1. 我々は生産する種豚、子豚、肉豚、精液はHACCP手法を取り入れた衛生管理により、安定して安全な製品として供給します。
2. 全体的にコンプライアンス意識を高め、関連法令を順守します。
3. 農場HACCPを推進し衛生管理レベルを高めるため、毎年定期的に優秀な人材を導入します。
4. 高い衛生管理を推進する機器、設備を整備します。
5. 随時システムの改善を図り、より安心できる構造を構築します。

作成日 2015年12月1日

農場名 株式会社シムコ

所在地 東京都江東区亀戸2-35-13

経営者 代表取締役 鈴木保

Webサイト <http://www.cimco.co.jp/>

<http://www.cimco.co.jp/summary/index.html>